

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成27年度第8回定例会 要点記録

日時 平成28年2月23日(火) 午後2時～4時

場所 国分寺市立本多公民館 講座室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・門委員・長谷部委員・橋本委員・萩原委員・戸澤委員・伊藤委員・大澤委員・北邑委員・田中(雅)委員

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・野中恋ヶ窪公民館長・加藤光公民館館長・豊泉もとまち公民館長・木場並木公民館長・秋元本多公民館事業係長

第12条に基づく出席者 NPO 法人あおぞら原理事長・櫻井地域福祉課長

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第7回定例会要点記録確認 ⇒承認

2 報告事項

(1) 平成28年第1回国分寺市教育委員会定例会について

事務局：議事6点中、公民館にかかわる部分は、「平成28年度国分寺市教育委員会の教育目標について」の審議があった。平成26年度末に教育ビジョンを策定(各委員へ配布済)した。平成27年度から5年間の計画となっている。毎年教育目標に沿った主要施策を出していたが、教育ビジョンの進行管理していくことになった。報告事項では、直接公民館に関わることはなし。

委員：5年間の計画となっているが、毎年の評価はどのように行っていくのか。

事務局：教育ビジョンの施策ごとに目標を立て、その目標に知って評価する。

委員：毎年、施策は変わるのか。

事務局：教育ビジョンに掲げている施策は変わらない。その施策に応じて事業を行っていくが、その事業の取り組み内容が変わる。

委員：教育委員会の報告事項の内容は市民に公開しているのか。

事務局：議事録は恋ヶ窪図書館と駅前分館で配架している。また、インターネットの市ホームページでも公開している。

(2) その他…特になし

3 協議事項

(1) 諮問について

①「高齢者との地域づくりを探る」について

NPO 法人あおぞら 原理事長(以下「あおぞら」という。): 資料「特定非営利活動法人あおぞら」の活動について資料に基づき説明。

委員長：いろいろな活動に長く取り組まれてきたことがわかった。

委員：公民館事業からいくつかの事業が外れていき、それをあおぞらで継続されている話があったが、どういう経緯であったのか。

あおぞら：囲碁将棋関係は、毎日できるロビーがあり、両者で話し合い移動した。80人くらいの登録がある。「アウトドアを楽しもう」「ちょこっと散歩」は、公民館で実施していた「ふれあい散策」と「美術館めぐり」の事業を引き継いでいる。「かぶと虫めつけ」は、山を借りて実施していたこともあり、経費や様々な問題があったと思う。

委員：公民館側からみた意見は。

委員：当時職員体制が変わり、外部の事業に同行しなくてはいけない問題と、10年以上の長期講座であり、自主グループ化をお願いしたと聞いている。

委員長：利用者アンケートの発足の経緯から、もともと公民館と発展してきたことがあると思うが、他の地域の参加とかを促すようなことはあったのか。

あおぞら：スタート後好評であったことから、他の地域についてもNPOを設立しようという市の意思はあったと思う。東恋ヶ窪六丁目自治会とも協力関係にあった。結果として、市としてはNPOにならなかった。

委員長：施設はあったのか。

あおぞら：市の北原地域センターがあった。

委員：東恋ヶ窪六丁目なので経緯を説明すると、地域センターの運営の委託であったため、難しい面があって受けられないと断った。

委員：里山はどの場所か。

あおぞら：真福寺公園の西側にあたる山を借りていた。

櫻井地域福祉課長（以下「地域福祉」という。）：資料「国分寺市地域福祉計画」「地域福祉計画の展開」及びパワーポイント資料に基づき説明。

委員長：期待に応える総合的な計画で、公民館の計画と重なり合う発表でした。

委員：行政として、公民館に期待することもいわれていたがそのあたりはどうか。

地域福祉：地域福祉としては、公民館は社会資源の1つで、市民が集える施設と考えている。地域によっては、そのような施設がないところもあり、その部分は課題である。公民館は5館、中学校区に1館あり、市民の方の居場所になってもらえればと思っている。

委員：自治会としてみると、行政としての青写真は素晴らしいと思うが、あまり伝わってこない。行政として、公民館にテーマを与えてもらえると見えてくると思う。ものの進め方を工夫してほしい。

地域福祉：確かに計画づくりを進めるうえで、テーマを決めると積極的に参加しやすいという意見はあった。たとえば、防災や見守り等。これから地域福祉を進めるうえで、いろいろな団体に集まっていただき、テーマを決めず話し合っていたらいいと思っている。みんなで話し合い、解決策を見つけ出したい。また、行政からテーマを与えられることが押し付けと感ずるという意見もいただいている。何か工夫して行っていきたい。

委員：丸投げしなければ大丈夫と思う。

委員長：地域福祉は、共助をメインにしている。この計画を作成するうえで前の計画との大きな転換は何か。日常のメディアで、実態として格差貧困が広がっている中で、公助で行うべきものは何か。そのために、民間にどのような力を借りたいのか。国分寺市はどのように捉えているのか知りたい。

地域福祉：今までの計画でも、地域福祉を意識していなかった訳でない。今回は、1つは地域づくりを意識するため、理念条例を作成してはどうかという意見もあったが、市が責任をもってこの福祉計画に基づき推進していくこと、市民とともにやっていく立場で進めていくことととらえている。2つの内容は、行政に与えられた課題である。虐待や引きこもりもあり、相談できればよい方であると捉え、相談するにもどこに行ったらいいかわからない。声に発することができないなどがある場合にどのように救っていくのが課題となっている。1件1件アウトリーチすることができないので、民間や地域の力を借りることも課題であると思っている。

委員：公民館職員がコーディネータ役になることを期待している。行政の中での連携を密にしてほしい。他の行政が連携すると学びが広がると感じた。地域会議など把握したうえで、もっと友好的な集まる場として進めてほしい。

委員：社会福祉協議会では、東京都の会議に出席している。そこでは、オリンピックを契機として、ボランティアの行動者率24.6%を40%にしようとしている。先ほどから地域づくりで議論しているが、その中での違和感は、伝統の無償のボランティア活動だけに特化している。いろいろな問題や課題がある中で、いろいろな参加の仕方があり、有償や後で自分たちに戻ってくるようなボランティア活動もある。公民館という人材育成の拠点があり、設備があるところやないところもあると思う。だれでも気軽に集まる場所としているが、工夫しないと実際はないと思う。もう1つは、人員のサポートで、精神的に問題のあるお子さんが見つかることもあり、関係機関だけでなく、市民の目線でも関わる機会があるとよいと思う。

委員長：そのあたりは非常に重要である。プライバシーや人権もあり、公民館のように自由に集まることができず、専門的なボランティアが集まっていけば、解決されるかも知れないが、あの子はいじめられているような情報を市民が簡単に共有してはいけないことも一方である。その部分を特殊なニーズとして、市民が共有できるシステムを構築する工夫が必要ではないかという提言であると思う。学校でもそういう問題は抱えているのか。

委員：ここ何年かプライバシーと言われるようになってきた。3月に地域で安心・安全を考える会が催されるが、中学生と自治会が話し合っている。自治会の方が実際に中学生に声をかけられない。不審者に間違われてしまう。昔は、隣の子がどこの中学をでているのか知っていた。名簿で親の職業まで知っていた。中学生はそこまでの情報が開示されていたことに驚いていた。世代的には中間の世代であり、自分の子どものことが知られていないことにほっとしている世代でもある。プライバシーの件は難しいと思う。

委員長：NPO 法人あおぞらから見た、福祉から公民館に対する期待などは。

あおぞら：公民館と庁内関係で交流がないところに問題があると思う。もったいないと思う。公民館だから出来ることがいっぱいあると思う。

委員長：今回、地域会議の重要性がでてきている。別の分野と交流し、たとえば民生委員や学校と連携することが大切になるのでは。

あおぞら：もとまちの地域会議では、ふるさと部会があった。地域を住みよいまちにするため、3回シンポジウムを行った。昔から住んでいる方、最近住み始めた方など世代を別々にして3シリーズの企画を行った。また、防災シンポジウムを行った。行政からいわれるのではなく、自分や家族が生き残るための備えや集合場所をどうするか。また、震災体験者をお呼びし、本当に困ったことを話してもらった。2回目は、東京防災（黄色の本）をもとに勉強した。これを題材にした3回目を検討している。

委員：今日の話聞いて感じたことは、実際に二重サービスになっていることが多い。とにかく、縦割りで情報が上にしか上がっていかない。市のテーマで、横の連携をいち早く作るべく、その方向性に向かっていると思った。

委員：地域福祉課長が作成した「公民館の地域づくりへの期待」の中で、公民館で学んだ成果をどうやったら地域福祉に活かせるのか知らない方も多いと思う。公民館と福祉行政が連携を取りながら、そのシステム作りが構築されることが求められていると感じた。くぬぎ教室での大きな課題である卒業や地域で生活していく場がないこと。福祉行政と教育行政がもう少しつながっていくとよいと思う。

地域福祉：今までよりは、行政間の連携は取れてきていると思う。くぬぎ教室を卒業した方の簡単な活動の場については持ち帰りたと思う。

委員長：福祉課長の発言から、このように公民館の動きをきちっと認識してもらえる機会はなかなかないと思う。非常に有意義な時間となった。

4 その他

委員長：事務局から今後の日程について報告をお願いします。

事務局：配布した管外研修の日程について説明。3月18日午後1時から3時までで平塚市にお願いしている。本多公民館に9時50分に集合していただければ、車を用意している。参加・不参加、交通手段を3月15日までに事務局へ報告をお願いしたい。

事務局：平塚市の視察後に、臨時会を開催するか検討いただきたい。⇒賛成多数により決定。内容は、自由討論と研修の振り返り。

事務局：来年度の日程について決めていただきたい。今年度は第4火曜日の午後で行ってきた。⇒原則第3火曜日に決まる。4月19日（火）午後3時からと5月17日（火）午後2時からに決定。内容は、国分寺市公民館の50年の歴史を公民館から報告する。

委員長：以上で本日は終了する。